



七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校 学校便りNo.4
令和6年 5月28日(火)
編集・発行責任者 校長 池田敏典
E-mail e52nagasaki-city.ed.jp
G-mail nijigaoka@gmail.com

みんなが「うるとらはっぴい」になった運動会



運動会に向けて全校児童一人一人がめあてを立ててがんばりました。合言葉(運動会テーマ)は、「みんながうるとらはっぴいになれる運動会にしよう」でした。テーマに向けて、そして、自分が立てためあてに向けて、かけっこ、リレー、ダンス、球入れなど、どれも見応えのある素晴らしい子どもたちの姿で、すべての子どもたちが《うるとらはっぴい!》になったものと思います。保護者の皆様、地域の皆様の温かい御声援のお陰と感謝しております。暑さの中に最後まで御参観いただいた上に、後片付けまで御協力いただきまして、ありがとうございました。

さて、運動会と言いますと、皆様にも様々な思い出があるでしょう。走るのが得意だった人には、懐かしく思い出されるかもしれません。また、走るのが苦手だった人にとっては、あまり良い思い出ではなかったかもしれません。しかし、後になって考えると、速く走れなかったからこそ得るものもあったのではないのでしょうか。自分がそうだったから、運動が苦手な子どもの気持ちに寄り添い、励ますことができるのではないのでしょうか。走る

のが速い人には難しいことかもしれません。

他の人の才能に心奪われ、自分が卑屈になる必要はありません。むしろ、その人が知らないこと(できなこと)を知っている(できる)。その人には見えない世界を見ることができると。そうしたことに自信をもって欲しいと思います。劣等感や悩みを抱えた人でなければ見えないこと、感じられないことがあります。それを大切にすることで、人としての深みが増していくのだと思います。

どうしても、競技で速く走ること、1位になること、勝つことに目を奪われがちです。ある意味、当然のことだと思います。しかし、懸命に努力する姿、その姿に寄り添っていくことも大切なことだと考えます。友達の頑張りにも気付く心、友達を大切にしている心、そうした心の働きがあったことも、子どもたちが《うるとらはっぴい!》になった所以だと感じた運動会でした。

三つの『かく』

運動会での子どもたちの姿に通じることとして、人生には三つの『かく』が必要だと聞いたことがあります。三つの『かく』とは、《汗をかく》、《恥をかく》、《ものをかく》ということです。

《汗をかく》は、決してあきらめず、努力することです。努力して流した汗は、決して無駄にはなりません。

《恥をかく》は、失敗して恥をかき、それに耐えて心を強くすることです。誰だって、失敗をするものです。失敗を重ねて成長していきます。

《ものをかく》は、手紙や葉書を書くことですが、相手の気持ちを考えながら、丁寧に書くということです。

現代の風潮は…と言いますと、きついことを避け、恥はかきたくない、手紙や葉書などには機械の文字が主流となっています。特に、SNS等の普及により、手紙や葉書を書く機会も少なくなっています。

時代遅れだと思われるかもしれませんが、便利な部分は合理的に活用しながらも、やはり、人として大切な点を忘れてはいけなく強くなります。子どもたちにも、三つの『かく』を大切に、その中で人としての道徳性を身に付け、素敵な人間関係を築いて欲しいと願っています。